

神奈川県子ども・若者施策審議会委員 自己紹介コメント

(敬称略)

所属・役職等 お名前	コメント
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 副事務局長 前島 藍	20年間、小学校に勤めた経験を生かして、審議会の委員を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。
(公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元 茂	神奈川県内の私立の幼稚園・認定こども園の約9割が加盟している団体です。570園約7万人の園児が在籍していますが、毎年5,000人以上の園児が減少しています。幼児教育保育の人材養成校への入学者も激減しています。一方で、幼児教育の無償化により保護者負担の軽減は図られ、より長時間保育のニーズも高く、特別支援の必要なお子さんも増えています。保育者への処遇改善と、園児が減少しても各施設の運営が成り立つ新たな配置基準と財政支援が必要だと思います。
(社福)神奈川県社会福祉協議会 保育協議会会長 山本 昇	一般社団法人神奈川県保育会理事長及び社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会内の保育協議会会長を務めさせていただいています。 日々、自園の子ども達の成長を見守りながら楽しく幸せな時間を過ごしています。 少子高齢化社会と言われ年々出生数及び出生率が下がる中、国ではこども家庭庁を発足させこどもまんなか社会を実現するためにこどもの視点に立ってこどもの最善の利益を考えながらと話されています。 私もこども目線で、微力ながら神奈川県子ども・若者施策審議会のお役に立てれば幸いです。 よろしく願いいたします。
神奈川県保育士養成施設協会 大内 美智子	横浜創英大学 こども教育学部 学部長として、幼児教育に携わる学生の養成にかかわっております。本学部では、保育・教育施設や地域社会において、保育・幼児教育の専門家として確かな貢献のできる人材養成を教育目的としています。 ただ、保育現場は人手不足等で課題のある状況にあり、保育の仕事に夢をもってあたることができない学生も増えております。本来未来のある子どもたちに寄り添える仕事は、社会的に担う役割が大きく、やりがいや喜びも大きいはずなのに・・と残念な思いをしている昨今です。
神奈川子ども食堂・地域食堂ネットワーク 世話人 堤 園子	10年間平塚市こども家庭課で児童虐待の対応をしてきました。本年度より神奈川県立高校4校(全日/定時)でスクールソーシャルワーカーとして勤務し、様々な困難を抱える生徒の相談にのっています。またNPO法人未来経験プロジェクトにて平塚市で子ども食堂や学習支援等、子どもたちと地域を繋ぐ活動をしています。子どもたちが歩いて行ける範囲に味方がいる社会、子どもたちが夢を描きそれを地域の大人が応援する社会の実現を目指しています。
NPO法人びーのびーの 二谷 綾	主に0～3歳までの未就学児とその保護者のためのつどいの広場事業にて、産前から切れ目ない支援からはじまり、子育てで家庭に寄り添い、親子が孤立しないようみんなで子育てができる場の運営をしています。一時預かりもみんなで見守るように意識し、ひろばと地域を結ぶ活動も力を入れています。子ども・若者施策審議会に携わらせて頂くにあたり、当事者目線を大切に子育て支援の現場での実践や思いをお伝えできるよう努めて参りたいと思います。

所属・役職等 お名前	コメント
県民生委員児童委員協議会 副会長 二ノ宮 要子	<p>私は主任児童委員を8期経験後、現在は民生委員・児童委員として3期目を迎えております。特に、市の会長として様々な役職をいただいております。要保護児童対策会議や社会を明るくする運動、更生保護女性会、地域の小学校の学校運営協議会等の会議に出席しております。子どもに関しては児童虐待や貧困、ヤングケアラー、ひとり親家庭の支援等様々な問題があり、民生委員・児童委員としてどのようにして地域と関係機関とのつなぎ役になれるか、重要な立場にあることをひしひしと感じています。</p> <p>県としても机上で論じるだけでなく、ひとつずつ現実的な解決策(むずかしい)を考え、子ども・若者が生きやすい世の中になるよう、微力ですが協力していきたいと思っております。二年間どうぞ宜しくお願い致します。</p>
NPO法人パノラマ 理事 鈴木 晶子	<p>子ども・若者の居場所づくりと、そこで聴こえるSOSをキャッチし、困難を支える活動をしてきました。「困ったら相談してね」と声をかけて相談する子ども・若者は少数派です。肩書きや窓口ではなく、身近な安心できる大人だから日常の中で相談することができます。安心できる居場所の中だから、子ども・若者同士で育ち合い、乗り越える力をつけていきます。そんな場と大人をどう県内に増やしていけるのか、みなさんと考えていきたいと思っております。</p>
独立行政法人労働政策研究・研究機構 深町 珠由	<p>初めまして、お世話になります。厚生労働省の職業情報提供サイト(job tag)の適性検査等の開発や活用に関する研究を行っております。様々な理由から就職が難しい若者の支援についても調査や情報収集をしてまいりました。神奈川県若者支援施策にお役に立てるように精一杯努力したいと思いますので、今後ともよろしくお願いたします。</p>
東海大学 教授 健康学部健康マネジメント学科 小林 理	<p>家庭の格差と子どもの育ちについて関心を持って政策と実践の間の課題に取り組んでいます。ひとり親家庭支援、こどもの貧困対策、社会的養護の専門職のことなど、調査研究を進めてきました。当事者であるこどもたちをどのように位置付けるか考えていきたいと思っております。</p>
早稲田大学 文学学術院 教授 阿比留 久美	<p>子ども・若者の居場所や、若者の社会的移行について研究しています。また、一般社団法人若者協同実践全国フォーラムというネットワーク団体で、若者支援に従事している方や当事者の方と活動をしています。若者にかかわる施策が政策の中に位置づき、必要としている方に届くようになるよう、皆様と一緒に考えていきたいです。</p>
神奈川県議会議員 (自民党) いそもと 桂太郎	<p>横浜市立若葉台小学校PTA会長を5年間 同若葉台中学校PTA会長を3年間務めて、その後地域学校協働活動推進員(学校地域コーディネーター)として、協働本部を立ち上げて、中学校では部活動休養日に校内で放課後学習支援活動を小学校では毎水曜日に地域の居場所(wakka)を借り、教員志望等の大学生を中心に放課後学習支援活動をしています。また、毎月土曜日には小学校低学年にはトライサイエンス教室を中・高学年にはmicro bitによるプログラミング教室をしています。そして、中学生には「デザイン思考Labo」という名称で主にICTを活用した社会課題の解決に挑戦する探究(研究)学習をしています。その他、NPO法人WSC未来のわかばを設立し、副理事長として、横浜市の放課後キッズクラブの運営や若葉台中央学童保育の運営委員会もしています。</p>
神奈川県議会議員 (立憲民主党・かながわクラブ) 市川 さとし	<p>初めまして立憲民主党・かながわクラブ、県議会議員の市川さとしです。この度、神奈川県子ども・若者施策審議会の委員を務めることになりましたのでよろしくお願いたします。すべての子ども・若者が安心して過ごせ、各種相談体制の充実を目指し、皆様と短い時間ではございますが、有意義な議論、審査を進めていければと思いますのでよろしくおねがいします。</p>

所属・役職等 お名前	コメント
神奈川県市長会 座間市長 佐藤 弥斗	本市では、第五次座間市総合計画「ざま未来プラン」で子ども、子育てに関する政策を最上位に位置付け、児童発達支援センターの開設、18歳以下の小児医療費無償化、出産・子育て支援金の給付や市立保育園でのおむつのサブスクリプションサービスなどの子育て支援策の推進に取り組んでいます。 市ホームページでは、子育て 情報を集約したコンテンツ「ちやいZAMA」に掲載しています。ぜひ一度御覧ください。
神奈川県町村会 箱根町長 勝俣 浩行	人口減少や高齢化の本格化に向けて、自治体の枠にとらわれない持続可能なまちづくりが重要と考えています。そのためには、地域コミュニティの活性化と子育て支援の充実を図りながら、働きながら安心して子育てできる環境を構築していく必要があります。 箱根町では、保護者の子育てにかかる費用負担を限りなく減らすとともに、多様な方々と子育てを頼り合えるよう、団体や事業所なども巻き込みつつ、町全体で子育てしていく機運の醸成に努めながら、子育て世帯を強力にサポートしています。
神奈川県市町村教育長会連合会 海老名市教育委員会教育長 伊藤 文康	職として、11年目になるところです。 高校生・大学生などによるまちづくりや教育活動への参画を積極的に進める必要があると考えています。今後、さらに、次世代を担う若者の活躍の場を広げたいものです。
(公社)神奈川県医師会 理事 古井 民一郎	神奈川県医師会理事の古井と申します。県医師会では、母子保健、先天性代謝異常、母体保護及び保育保健等の事業を担当しており、それぞれの事業で年2回～12回(毎月)程度会議を開催して、県内の母子保健・成育医療の充実発展に努めております。 令和5年4月、子ども家庭庁が発足し「子ども未来戦略」が策定され、令和5年度補正予算において加速化プラン等の前倒しが行われることとなりました。 そのうち「妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業」、「1か月児」及び「5歳児」健康診査支援事業」及び「新生児マススクリーニング検査に関する実証事業」については、県医師会の事業に深く関わっておりますので、関係の皆様と連携してしっかり対応していかなければならないと考えております。 どうぞよろしく願いいたします。
(公社)神奈川県看護協会 横森 喜久美	大都市と小規模自治体がある神奈川県の特徴を踏まえ、連続性のある包括的な施策の展開と、子どもや若者の当事者の意見を反映することを期待します。 看護職は、妊娠期からの母子保健や地域での子育て支援にも携わることも多くあり、様々な場面で対応しています。そのことが施策に役立てば何よりです。
神奈川県弁護士会 飯島 奈津子	神奈川県弁護士会子どもの権利委員の弁護士です。子どもの関わる家事事件や虐待被害の具体案件のほか、これまでの県内自治体での児童福祉分野の審議会や重大事態調査委員、いじめ調査の第三者委員等の経験も踏まえ、当審議会に希望と期待をもって臨みたいと思っております。
神奈川県労働局職業安定課長 福本 秀	日頃より神奈川県労働局の業務運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。 神奈川県労働局では、「すべての人がいきいきと働けながわ」を目指して積極的な業務運営を展開しております。 本審議会においては、職業安定行政としての役割は就労支援が中心になると思います。「多様な人材の就労・社会参加の促進」を念頭に、就労にあたって様々な課題を有する若年者・新規卒卒者に対し、関係機関の皆様と連携し、ハローワークにおいて、職業相談から職場定着まで一貫した丁寧な支援を実施してまいります。

所属・役職等 お名前	コメント
県立田奈高等学校 校長 梅田 俊輔	<p>クリエイティブスクールの校長として、困難を抱える生徒たちの支援に日々奔走しています。図書館カフェや朝食提供等の取組を通じ、教職員だけでなく、地域の大人たちと一体となって子どもたちを支援することの重要性、必要性を強く感じています。</p> <p>今、若者たちに何が起きているのか、現場目線から少しでもお役に立てられるよう、微力ながらご協力したいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>クリエイティブスクールの校長として、困難を抱える生徒たちの支援に日々奔走しています。図書館カフェや朝食提供等の取組を通じ、教職員だけでなく、地域の大人たちと一体となって子どもたちを支援することの重要性、必要性を強く感じています。</p> <p>今、若者たちに何が起きているのか、現場目線から少しでもお役に立てられるよう、微力ながらご協力したいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
認定NPO法人育て上げネット 伊野 滉司	<p>働きたくても働けない若者の社会的・経済的自立と居場所の獲得を支援しているNPO法人で、主に支援機関や行政、教育機関との連携といった中間支援を中心に活動しています。就労や居場所の獲得に困難を抱える若者は成育歴や家庭、心身の問題など、近年ではより複雑性を増しています。私は就労に関する支援が専門ですので、この貴重な機会の中で様々なお立場の有識者の皆様と、多角的に若者の未来について考えていければと思います。</p>